

平成31年度 事業報告書

大慈学童クラブ

1. <基本方針>

- ①児童福祉法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき児童の人権を尊重する
- ②共同で行動することを通して、生活習慣、人間関係、思いやり等が身につくように援助する

2. <大慈学童クラブにおける中長期ビジョン>

地域福祉の一環として、地域のニーズに応え、利用者が安心して利用出来るサービスを提供する。また各利用者が集団生活を通し、思いやりの心と考える力を育める様、努める

3. <目標>

- ①利用者のニーズを把握し、ニーズに沿ったサービスを提供する。

以前より4年生になっても学童を利用したいというニーズがあり、今年度、受け入れ人数に空きが出来た為、3年生に対し、来年度の利用について確認した。6人の内、1人はそのまま退会となったが、残り5人は4年生になっても利用したい、との事で受け入れ態勢を整えた。

- ②リスクマネジメントに基づき、リスクの軽減を図る。

過去の傾向から、起こりうる保育中のリスクを想定し、職員の配置など、リスクの軽減に努めた。また、グループワーク等の外出時は行き慣れた場所でも事故に繋がる可能性が高くなる為、事前の下見や打ち合わせをし、職員間でリスク管理について共有した。

- ③職員の資質の向上。

内部、外部研修に参加し、各職員の対人関係スキルの向上を図った。また、学童委員会等を通し、保育内容や保護者対応について話し合い、職員による差が生まれない様、努めた。

4. <利用人数>

初日在籍数(人)

学年 月	1年	2年	3年	合計	学年 月	1年	2年	3年	合計
4	6	10	8	24	10	6	10	6	22
5	6	10	7	23	11	6	10	6	22
6	6	10	7	23	12	6	10	6	22
7	6	10	7	23	1	6	10	6	22
8	6	10	7	23	2	6	10	6	22
9	6	10	6	22	3	6	10	6	22

5. <広報>

保護者、各区役所、神戸市役所こども家庭局に学童新聞を発行した。新聞の内容には、行事予定や、お知らせ等を記載した。

6. 《行事内容》

月	日	行 事	月	日	行 事
4	8	昼食会	9	2	昼食会
	9	花見		21	昼食会
	10	昼食会		27	のびっ慈 day (スライム作り)
	26	のびっ慈 day (ドッジボール大会)			
5	11	昼食会	10	5	昼食会
	18	昼食会		18	のびっ慈 day (ハロウィン飾り作り)
	24	のびっ慈 day (スタンプ作り)		19	昼食会
6	3	グループワーク (神戸どうぶつ王国)	11	5	グループワーク (総合運動公園)
	8	昼食会		9	昼食会
	14	のびっ慈 day (被り物作り)		29	のびっ慈 day (万華鏡作り)
	17	グループワーク (キュービーマヨネーズ工場見学)		30	昼食会
	29	昼食会			
7	1~6	個別懇談会 (希望者対象)	12	2~7	個別懇談会 (希望者対象)
	19	昼食会		7	昼食会
	24	運動遊び (中央体育館)			のびっ慈 day (絵馬作り)
	25	学童ボランティア (紙芝居・工作)		25	クリスマス会
	26	水遊び		27	昼食会
	29	のびっ慈 day (うちわ・デザート作り)			
	30	昼食会			
	31	スイカ割り			
8	1	運動遊び (中央体育館)	1	7	もちつき
	2	水遊び		17	のびっ慈 day (鬼の面作り)
	5	のびっ慈 day (水鉄砲作り)		18	昼食会
	7	昼食会	2	3	節分 (豆まき)
	9	水遊び		8	昼食会
	19	のびっ慈 day (風鈴作り)		14	のびっ慈 day (デコチョコ作り)
	20	学童ボランティア (フェルト遊び)		15	昼食会
	21	運動遊び (中央体育館)			
	22	学童ボランティア (マジックショー)	3	3	ひな祭り (雛壇を飾る)
	23	地藏盆		23	昼食会
	26	交通安全教室		24	お別れ会
	27	昼食会		25	昼食会
	28	昼食会		26	のびっ慈 day (カイト作り)
	29	昼食会			※昼食会は新型コロナウイルス感染症対策の為、実施せず。また、お別れ会も昼食提供は行わず
	30	屋台村			

7. 《保健衛生》

- ・エアコンのクリーニングを業者に依頼し、実施した。
(廊下清掃は、新型コロナウイルス感染症対策の為、来年度に延期する)
- ・毎週金曜日(祝日、年末年始除く)、大掃除を行った。
- ・害虫駆除を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、3月より下記の対応をする
 - ① 休校期間中、朝からの受け入れ
 - ② 登所時、おやつ後の検温、健康状態の管理
 - ③ 保育時間等の縮小
 - ④ 定時の換気
 - ⑤ 手洗いや消毒等の徹底
 - ⑥ 送迎時の入館の制限
 - ⑦ 外部業者が出入りする際の検温
 - ⑧ 職員の体調管理(検温)

8. 《消防避難訓練》

- ・4、7、8、12、1月実施
(6、9、2月は夜間想定訓練、5月は外遊び中、3月は新型コロナウイルス感染症対策の為、実施せず)
- ・不審者訓練…10月実施
- ・災害訓練(津波想定)…11月実施

9. 《会議》

学童委員会(月1回)

→学童委員長を中心に保護者への対応、特別に配慮が必要な児童、環境面の事、行事の内容等を議題に挙げ、話し合いをした。(3月は新型コロナウイルス感染症対策の為、行わず)

10. 《地域貢献》

- ・延長保育の時間外受け入れ(19時~21時)
→定額での延長保育希望者を除き、当日に12件、保護者より要望があり、行った。

11. 《リスクマネジメント報告》

※事故の定義…職員が付き添い、病院を受診したもの。

※ケガの定義…事故以外のケガで、職員が処置したもの

平成31年度				平成30年度			
報告件数	合計	事故	ケガ	報告件数	合計	事故	ケガ
	54件	0件	54件		178件	4件	174件

事故・ケガ報告(内容)



○まとめ

事故→病院の受診が必要な事故は発生しなかった。夏季は特に熱中症対策を徹底して行うように努めた。

ケガ報告→利用者数が減り、遊ぶスペースを広く確保出来た為、前年度より大幅に減少した。外遊び中に転んだり等の不慮のケガが殆どで、子ども同士の接触によるケガは減った為、室内外問わず安全に過ごせる様、意識して保育するようにした。

1 2. 《苦情・相談結果報告》 苦情の定義→運営委員長が状況を見て、苦情か相談かを判断する。

○報告件数

平成31年度				平成30年度			
報告件数	合計件数	苦情	相談	報告件数	合計件数	苦情	相談
	1件	1件	0件		2件	1件	1件

○まとめ

苦情は習い事への送り出しについて、学童側と保護者の認識の違いによって起こった。確認、説明が不十分だった事を謝罪し、今後の対応について理解して頂いたが、配慮が欠けていた点について職員間で共有し、今後の対応に繋げる様にした。

1 3. 《総括》

法人内に新たに学童保育コーナーが出来、利用者が例年より3割程減少した。事業の今後の継続も踏まえ、どの様なニーズにより、現利用者が利用しているのか把握し、小人数での学童保育や警報時、習い事への対応など、サービスの内容により選んで頂いている事が感じられた。地域福祉として利用者に安心、信頼して利用してもらえる様、今後もニーズの把握に努め、福祉サービスを提供していきたい。